令和５年度　竹末小学校通信

学校教育目標
「 自ら考え 心豊かで
自立する子どもの育成」

笑顔で
明るく
元気よく

令和５年１０月１６日
北九州市立竹末小学校
TEL 621-0027
文責　校長　田中　民平

秋本番～実りある体験学習を～

朝、夕は涼しさを感じられるようになり、秋本番を迎えようとしています。学校では精力的に体験学習や校外学習を行っています。一つ一つの取組を大切にし、子どもたちが達成感を味わい、着実に成長していけるよう指導・支援に努めてまいります。季節の変わり目です。ご家庭においては十分な健康管理をお願いいたします。

6年修学旅行

9月26～27日、6年生は修学旅行に行ってきました。長崎では、城山小学校、原爆資料館、平和公園などを見学し、戦争の恐ろしさや平和の尊さを学んできました。長崎市と北九州市を結ぶ平和の象徴として本校にも植えられている「かよこ桜」。その発祥地である城山小学校で平和集会を行い、全校児童が折った千羽鶴を届けてきました。平和について学ぶ子どもたちの目は、終始真剣そのものでした。二日目のグリーンランドでは、平和学習の時とは打って変わって笑顔いっぱいの表情で友だちと仲よくアトラクションを満喫する姿が見られました。学ぶとき、遊ぶ時の気持ちを切り替えることを意識して過ごした二日間。とても有意義な時間だったと思います。

「少ない時間の中、しっかりと見てメモをとることができました。実際に現場に行って見て学ぶことは大事だと改めて思いました。（T 児の感想より）」

4年八幡特別支援学校との交流

10月3日、4年生は八幡特別支援学校との交流会をしました。ここ数年は、コロナ禍のためプレゼントや手紙のやりとりのみを行う短い時間での交流しかできませんでしたが、今回は、時間をたっぷりと使って交流することができました。2校時は教室で自己紹介とプレゼント交換。3校時は、体育館に場所を移し、ゲーム（ボッチャ）で大いに盛り上がった後、本校の児童が「茶色の小瓶」の演奏を披露。最後は両校いっしょに「ビリーブ」を歌いました。支援学校の児童が歌に合わせて手話をしてくれたことに、子どもたちは感動していました。この交流は、友達の輪を広げるとともに、「障害」について考える貴重な機会でもあります。今後も大切に続けていきたい取組です。

「みんなで心を一つに歌うことができうれしかったです。またいつか、八幡特別支援学校のみんなといっしょに歌を歌いたいです。（H 児の感想より）」

5年国際理解教育

9月29日、5年生を対象にモンゴルの国際理解の学習と民族楽器「馬頭琴」の演奏会を行いました。今回演奏を披露してくださったマンダルワさんは、7，8年前から北九州市の小学生に、馬頭琴の演奏会を通してモンゴルの文化を伝える活動を続けられています。民族衣装を身にまとって奏でる馬頭琴は、心に染み入るような美しい音色でした。演奏だけでなくモンゴルの文化、暮らしについての話も興味深く、5年生はこれをきっかけに自分たちでさらに詳しく調べ、学習発表会で発表する予定です。

「今までモンゴルのことがあまり好きでもなかったけど、話を聞いて行ってみたいと思いました。2年生の頃から少し気になっていた馬頭琴は、絵で見るよりも迫力があって素敵な演奏でした。（Y 児の感想より）」

消防「夢」コンサート

10月2日、消防音楽隊の皆さんによる「夢」コンサートが行われました。途中、消防に関する話を交えながら、吹奏楽の演奏とカラーガードの演技を披露してくださりました。子どもたちになじみの曲や竹末小学校の校歌の演奏、楽器の紹介やカラーガード体験など趣向を凝らしたとても楽しいコンサートでした。迫力満点の演奏や華麗なカラーガードの演技にふれ、「いつか自分もやってみたい」という心が芽生えた児童もいたことでしょう。

「ラッパが思ったより大きかったです。演奏で一番好きだった音楽は忍たま乱太郎です。カラーガードはきれいなおどりでした。（Y 児の感想より）」

「ぼくはじゃんけんに勝ってカラーガードになりました。そして、やる前から緊張しました。（U 児の感想より）」